

2019年度 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科  
科目等履修生(Pre-ART) 入学願書

様式1

2019年 2月 5日

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科長 殿

博士課程の科目等履修生として入学したいので、ご許可下さいますようお願い申し上げます。

フリガナ	オカヤマ ハナコ	性別	男・ <input checked="" type="radio"/> 女
氏名	岡山 花子		
生年月日	1997年11月12日 生まれ	年齢	満21歳
学生番号	06428000	履修する年度の学部年次	4年次
所属	岡山大学 医学部 医学科		
現住所	〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1 自宅 (086)235-1234 携帯 (090)1234-5678		
E-mailアドレス	whoami@s.okayama-u.ac.jp		
志望理由	志望理由の一例:【過去】「医学研究インターンシップ」の履修を機に医学研究に興味を持つようになりました。【未来の展望】医学研究を卒業進路の候補の1つと考えており、ARTプログラムの履修を見据えて学部生の間から準備を始めたいと考えPre-ART科目等履修生を志望しました。		

将来自分はどうなる医師になりたいのでしょうか？  
そのキャリア実現に大学院進学はどのような意味を持つのでしょうか？  
もう一度自分の心に問いかけてみましょう。

授業科目名	単位	期別	曜日 時限	授業担当教員名	評価 ※	評価者印 ※
研究方法論 基礎	5					
研究方法論 応用	4					

【学生の方へ】自分のことをよく知り、理解していただき、信頼いただいている先生に推薦をお願いしてください。  
【教員へ】推薦とは信頼の環をつなぐ大切な行為です。将来の指導教員になり得る可能性を念頭に、「この学生なら指導してよい」と思われる場合にご推薦をお願いします。アカデミック・アドバイザー、基礎病態演習、MRI、実習、部活動の顧問などで当該学生と直接接し、信頼に足ると判断される学生をご推薦いただけましたら幸いです。

指導(担当)教員からの推薦文(指導(担当)教員は、一般には「教授」で(履修する年度に3, 4, 5年次の者は推薦文が必要です。)

推薦文の一例:【学生との関係性(直接に接した経験)】○○さんは△△市の出身です。「基礎病態演習」では□□学分野でPBL tutorialに参加し、チームを柔らかく引っ張っておりました。また、「MRI」では地元の△△大学医学部での学外実習を志望していましたが、震災のため再び当分野で履修することとなり、▽▽先生の指導の下で～の遺伝子発現調節の研究に熱心に取り組みました。【現状】授業終了後も研究室に通い論文執筆を目標に研究を続けています。【Pre-ARTの履修が学生の将来にもたらす影響】将来は大学に残り、教育と研究、特に新医療の分野の臨床研究に参画したいと考えています。現在は、自らの手で研究を行って知識、技能、態度の修得につとめ、合わせてPre-ART生として大学院進学準備を始めたいと考えています。【推薦】目標に明確に想定して日々努力を重ねている○○さんを科目等履修生として心から推薦いたします。

指導(担当)教員名 印

これまでのPre-ART歴 (これまで実施した科目について○をしてください。)	平成28年度	研究方法論 基礎	研究方法論 応用
	平成29年度	研究方法論 基礎	研究方法論 応用
	平成30年度	研究方法論 基礎	研究方法論 応用

- 記入上の注意
- (1) 科目等履修を願い出ることのできる単位は1年につき10単位まで、学部で通算10単位までです。
  - (2) 指導(担当)教員の推薦及び承認を得て、提出してください。
  - (3) この願書に記載された個人情報については、履修及び学籍関係業務のみに利用させていただきます。
  - (4) ※は、事務担当での使用欄ですので、記入しないでください。

研究活動実施の有無	2019年度に研究活動実施予定あり	研究活動実施予定無し
研究計画書の提出	今回提出あり	( 3/31 までに提出予定予定 )